

# 地域との つながりを大切に

～特別支援学校における  
交流及び共同学習の推進～

本県では、地域とのつながりを大切に、障害のある子どもにとっても、障害のない子どもにとっても、互いに経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むことをめざす、交流及び共同学習の取組を進めています。



交流及び共同学習の推進は、障害のある子どもと障害のない子どもが可能な限り共に学ぶことを追求するインクルーシブ(=すべてを包み込む)な教育環境の充実に向けて、本県が掲げる第4期和歌山県教育振興基本計画「特別支援教育の充実」においても重要な取組のひとつとして示しています。

特別支援学校における交流及び共同学習の取組には、子どもたちが普段暮らしている地域の小学校や中学校との間で行われる「居住地校交流」と、特別支援学校の近くにある小学校や中学校、高等学校等との間で行われる「学校間交流」があります。

居住地校交流は、学校行事をはじめ一部の教科で活動を共にする直接的な交流だけでなく、作品の交換やインターネット等を活用した間接的な交流も含まれます。

交流の実施にあたっては、子ども本人や保護者の意向を丁寧に確認しつつ、目標やねらいを明確にするなど、互いの学校が年間の計画に適切に位置づけ、事前学習や事後学習なども大切にしながら取り組んでいます。

特別支援学校に在籍する子どもたちの多くは、スクールバス等により居住地域にある小学校区や中学校区を越えて通学しています。

学校は、すべての子どもの未来を育む場所です。県教育委員会では、すべての子どもたちが同じ地域の仲間として、楽しく学び合い、よりいっそうお互いを理解し合う機会となるよう、これからも交流及び共同学習を推進していきます。



高校生段階では、新たな取組がスタートしています。



## 県立きのかわ支援学校 × 県立伊都中央高等学校



橋本市にある、きのかわ支援学校の高等部と伊都中央高等学校では、「地域の方に喜ばれる」をテーマにコラボカフェの開店を目指し、協議を進めています。

高校生同士交流を深めながら、メニューを考案したり、地産地消やSDGsについて考えたりしていきます。

お客様とのやりとりを通して、コミュニケーションの力を高め、人の役に立てる喜びを感じられるように取り組んでいきます。

## 県立たちばな支援学校 × 県立日高高等学校中津分校

広川町にあるたちばな支援学校の高等部スポーツクラブと日高高等学校中津分校硬式野球部では、ソフトボールを通じた交流を行っています。

準備運動、ストレッチ、ペアになったのキャッチボール等、高校生同士一緒になって汗を流しています。

今後、和歌山県高等学校野球連盟と連携して、高等学校との交流を進めていきます。



## 県立和歌山さくら支援学校 × 県立和歌山北高等学校

和歌山市にある和歌山さくら支援学校では、和歌山北高等学校西校舎と隣接しているという立地条件を生かし、様々な交流を展開しています。

小学部の児童や中学部の生徒には、高等学校図書部員による読み語りや水泳部員による泳法指導、高校生同士の交流では、硬式野球部との応援旗の交換や体育祭・文化祭への参加等、その活動は多岐にわたっています。



学校卒業後においても、様々な人々と共に支え合う機運を高め、すべての人々が積極的に社会参加できるよう、今後も交流及び共同学習の取組を進め、障害の有無に関わらず、誰もが相互の人格と個性を尊重し合える共生社会の実現をめざします。

